

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はなえみ学舎 みくらまち		
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 4日		～ 令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 4日		～ 令和7年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p><運動・身体発達への支援> 週1回の体育館活動を通じて、ボール遊びやリレーなどのルールのある集団遊びを実施し、自然な形で体力向上と感情コントロールの練習を行っています。また、トランポリンや散策など様々な活動を通して感覚統合を促進し、心身の調和を図っています。</p>	<p><運動・身体発達への支援> 体育館活動では、本人の興味に合わせた運動遊びを取り入れ、楽しみながら体を動かせるよう工夫しています。また、運動後は十分なクールダウンの時間を設け、次の活動にスムーズに移行できるよう配慮しています。少人数でのゲームや運動遊びから始め、徐々に集団での活動に慣れていけるよう段階的な支援を行っています。</p>	<p><運動・身体発達への支援> 医療機関からは感覚統合の視点を取り入れた支援の継続が推奨されており、特に運動活動を通じた心身の調整の重要性が指摘されています。これを踏まえ、より専門的な視点から活動内容を充実させていく必要があります。</p>
2	<p><社会性・コミュニケーション能力の育成> グループ活動を通して、協力や譲り合いの大切さを体験的に学び、社会性の向上を図っています。また、ソーシャルスキルトレーニングを通して基本的な対人スキルを段階的に学べる環境を整えています。</p>	<p><社会性・コミュニケーション能力の育成> 小グループでの活動を通して、協力や譲り合いの大切さを体験的に学べる機会を提供し、強制せずに本人が安心して参加できる雰囲気づくりを心がけています。また、成功体験を積み重ねることで自己肯定感を高め、他者との関わりに自信が持てるよう支援しています。</p>	<p><社会性・コミュニケーション能力の育成> 地域での活動を通して様々な人との交流機会を作り、社会性をさらに育てていく必要があります。また、他者への関心が高まってきている様子を大切にし、無理なく交流を深められるよう配慮しながら支援を継続していく必要があります。</p>
3	<p><生活習慣・自己管理能力の確立> 手洗いや持ち物の管理など、基本的な生活習慣の確立に向けて、スモールステップで支援を行っています。本人のペースを尊重しながら進めることで、着実な成長を促しています。また、視覚的な支援を活用することで、無理なく習慣化できるよう工夫しています。</p>	<p><生活習慣・自己管理能力の確立> みんなで使う場所や物の片付けなど、基本的な生活ルールを視覚的に示し、集団生活に必要な習慣を身につけられるよう支援しています。本人のペースを尊重しながら、できたことを具体的に褒めて自信につなげる工夫をしています。</p>	<p><生活習慣・自己管理能力の確立> 家庭と施設で一貫した支援方針を共有し、保護者の精神的・時間的余裕を生み出すため、より密接な連携が必要です。また、定期的な面談を通して家庭での様子や課題を共有し、具体的な対応方法を一緒に考えていく必要があります。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p><学習支援と学力向上への取り組み> 個別学習時の集中力維持が難しく、特に友達と一緒に学習時には私語が増加する傾向にあります。タイマーを使用した時間管理を導入していますが、持続的な効果が得られていない状況です。また、学習内容の定着度にばらつきがあり、特に新しい課題に直面した際の対応力に課題が見られます。</p>	<p><学習支援と学力向上への取り組み> ・個々の学習スタイルや特性に合わせた指導方法の確立が不完全 ・学習意欲の維持・向上のための効果的な褒め方や動機付けの方法が統一されていない ・学習成果の可視化や目標設定が明確でないため、達成感を得にくい</p>	<p><学習支援と学力向上への取り組み> ・個別の学習スペースの確保と、集中できる環境設定の工夫 ・視覚的なスケジュール管理と達成目標の明確化 ・個々の学習進度に応じた教材の開発と段階的な目標設定 ・適切な休憩時間の設定と、メリハリのある学習時間の確保 ・保護者との定期的な情報共有による家庭学習との連携強化 ・職員間での指導方針の統一と、効果的な支援方法の共有</p>
2	<p><社会性・コミュニケーション能力の育成> ソーシャルスキルトレーニングを実施していますが、実際の場面で一般化に課題が見られます。特に感情のコントロールや適切な声量の調整、友達との距離感の保持などに困難さが見られます。また、集団活動時のルール理解や順番待ちなどの基本的なソーシャルスキルにおいても、場面に応じた適切な行動の選択が難しい場合があります。さらに、トラブル発生時の対処方法や、自己主張と相手への配慮のバランスを取ることも課題があります。</p>	<p><社会性・コミュニケーション能力の育成> ・実践的な場面でのソーシャルスキル練習機会の不足 ・個々の発達段階や特性に応じた支援プログラムの未確立 ・成功体験の蓄積が不十分で、自信につながりにくい ・感情コントロールのための具体的な方策の習得が不十分 ・職員間での支援方針の共有や一貫した対応の不足 ・保護者との連携による家庭での一般化支援の体制が不十分</p>	<p><社会性・コミュニケーション能力の育成> ・成功体験を積み重ねるための段階的な支援プログラムの構築 ・感情コントロールのための具体的な手法の指導と練習機会の提供 ・職員間での支援方針の統一と、効果的な支援方法の共有 ・保護者との定期的な情報共有による家庭での一般化支援 ・個々の特性に応じた視覚的支援ツールの活用</p>
3	<p><生活習慣・自立支援の確立> 基本的な生活習慣の確立において、特に手洗いや身だしなみ、姿勢保持などに課題が見られます。また、持ち物の管理や時間管理においても自立的な行動が不十分な状況です。体調管理や危険予知についても、自己判断が難しく、職員の声かけに依存する傾向があります。さらに、整理整頓や後片付けなどの習慣化にも課題があり、継続的な支援が必要な状況です。</p>	<p><生活習慣・自立支援の確立> ・自立支援に関する明確な目標設定と評価基準の未確立 ・成功体験の積み重ねが不十分で、自信につながりにくい ・個々の発達段階や特性に応じた支援方法の確立が不完全 ・保護者との連携による一貫した支援体制の構築が不十分 ・職員間での支援方針の共有や統一した対応の不足</p>	<p><生活習慣・自立支援の確立> ・視覚的な支援ツールを活用した手順の明確化 ・成功体験を積み重ねるための段階的な目標設定と評価 ・自己管理能力を育てるための具体的な支援方法の確立 ・保護者との連携強化による家庭での一般化支援 ・定期的な評価と支援方法の見直しによる継続的な改善</p>